

森林セラピー[®]



特集
p.2

森林セラピートーク会を企画する

会報誌 23号

P.8 森林セラピー基地探訪

- ・神奈川県箱根町
- ・長野県下伊那郡松川町

P.12 森林セラピー女子部

- ・講座イベント、
基地探訪のご報告
- ・2018年度上半期
講座イベント・交流会の
スケジュール





はじめに

森林セラピーは、研究会の時代からは14年、特定非営利活動法人としては来年4月で10年を迎える長い取組です。法人化してから今もなお大きな課題のひとつは、森林セラピーという言葉自体の普及率でしょう。この森林セラピーを知つてもらう方法として、法人としても、また資格をお持ちの皆様や認定地の基地・ロードの皆様も様々な方策を行ってきたところだと思います。看板広告、CM、ポスターなど、普及啓発・PRには様々な手法がありますが、森林セラピーの体験会という形で行っているのは、まだ例として少ないのでしょう。森林セラピーソサエティでも、昨年の『みどりとふれあうフェスティバル（東京・日比谷公園）』の出展に併せた体験会が初めての体験会で、今年10月上旬に単独での体験会を実施し、累計で5回目の実施となっています。

に比べて実際の雰囲気がつかみやすく、森林セラピーについて説明した際に、治療行為と誤解されてしまうのを避けることができまます。同時に、散策会や自然体験会との違いを短時間でアピールする必要があり、この点については実施の難易度が上がります。

利用対象者を都市部在住の方にする場合、そもそも自然にふれることでのストレス解消方法や森林の気持ちよさを実感したことがない方も一定数いらっしゃいます（虫が嫌い、きつい運動のイメージがあるなど）。そういった方々に対しても、急に「森は健康にいいですよ、森へ来ませんか」というのはハードルが高すぎます。森へ行くことのメリットをまだわ

森林セラピー 体験会を 企画する

基地の広報活動や森林セラピー自体の普及啓発として、認定基地以外を使ったイベントを開催する基地やガイド・セラピストが増えています。森林セラピーソサエティとしても、独自開催や大型イベントの際に体験会を企画することがあります。今回は、そういった体験会の企画について特集します。

なぜ体験会なのか

体験会は、パンフレットや動画



個人や単体で企画する際には、体験イベント自体に参加費を設けことで、イベントにかかる費用負担がなくなる、もしくは軽くされることも魅力のひとつかもしれません。また、参加時にお名前や連絡先を集めることができますので、その後、また他のイベントを開催する際にご案内をお送りできるようになります。もちろん、回収時にはお知らせをお送りしてよいか、きちんとお聞きしておくよ

うにしましょう。

出展する際には目玉として使うことができるイベントでは、大きなブースや派手なブースに人が集まりがちですが、体験型のものはイベントでもブース紹介と別枠で扱ってもらえることもあります、注目度が上がりやすくなります。



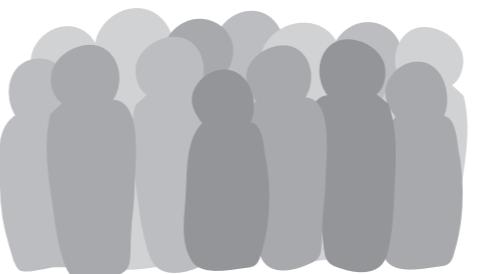
森林セラピーロードと違い、都市部の公園では五感を使うことが難しいかもしれません。香りのある葉っぱがない、巨木がないなど。森林セラピーの要素のなかでも、安息は取り入れると効果が高いため、なるべく10分以上の長い時間実施できるようになります。ヨガマットや銀マットが用意できないう場合は、一般的なレジャーシートで代用できます。レジャーシートであれば、ガイドが一人でもリュックに入れて持ち運ぶことができます。

比較的狭い遊歩道の場合は、他の利用者の妨げにならないように配慮が必要です。森林セラピーロードのように、ゆったりと設計された遊歩道ではないこと、基地やロードのようないくつかの場所で使用できる場合のみで、ランニングの方々が後方から走ってくる可能性もありますし、ワンちゃんとのお散歩に遭遇することもあります。幅の広い遊歩道、広場などの時間を多めにとるようになります。幅の広い遊歩道、からの通行者を塞いでしまうよ

実施にあたって気をつけること

市部の公園では五感を使うことが難しいかもしれません。香りのある葉っぱがない、巨木がないなど。森林セラピーの要素のなかでも、安息は取り入れると効果が高いため、なるべく10分以上の長い時間実施できるようになります。ヨガマットや銀マットが用意できないう場合は、一般的なレジャーシートで代用できます。レジャーシートを入れて持ち運ぶことができます。

比較的狭い遊歩道の場合は、他の利用者の妨げにならないように配慮が必要です。森林セラピーロードのように、ゆったりと設計された遊歩道ではないこと、基地やロードのようないくつかの場所で使用できる場合のみで、ランニングの方々が後方から走てくる可能性もありますし、ワンちゃんとのお散歩に遭遇することもあります。幅の広い遊歩道、広場などの時間を多めにとるようになります。幅の広い遊歩道、からの通行者を塞いでしまうよ



場所の特定時には、人が多すぎないか、車の音がうるさくないかにも配慮しましょう。



集合場所についてはなるべくわかりやすく、できれば駅やバス停から近い場所を選ぶとよいでしょう。



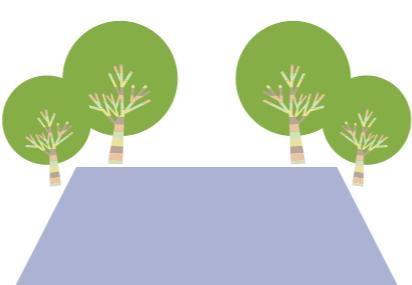
入場料のかかる場所の場合は、営利目的での利用が禁止されていないか、集金方法に指定がないか確認しましょう。



立入禁止の場所などないか、確認しましょう。



比較的狭い遊歩道の場合は、他の利用者の妨げにならないように配慮が必要です。



ヨガマットや銀マットが用意できない場合は、一般的なレジャーシートで代用できます。



開催場所に近い基地のパンフレットを参加者にお渡しして、森林セラピー全体について軽く解説できると理想的です。

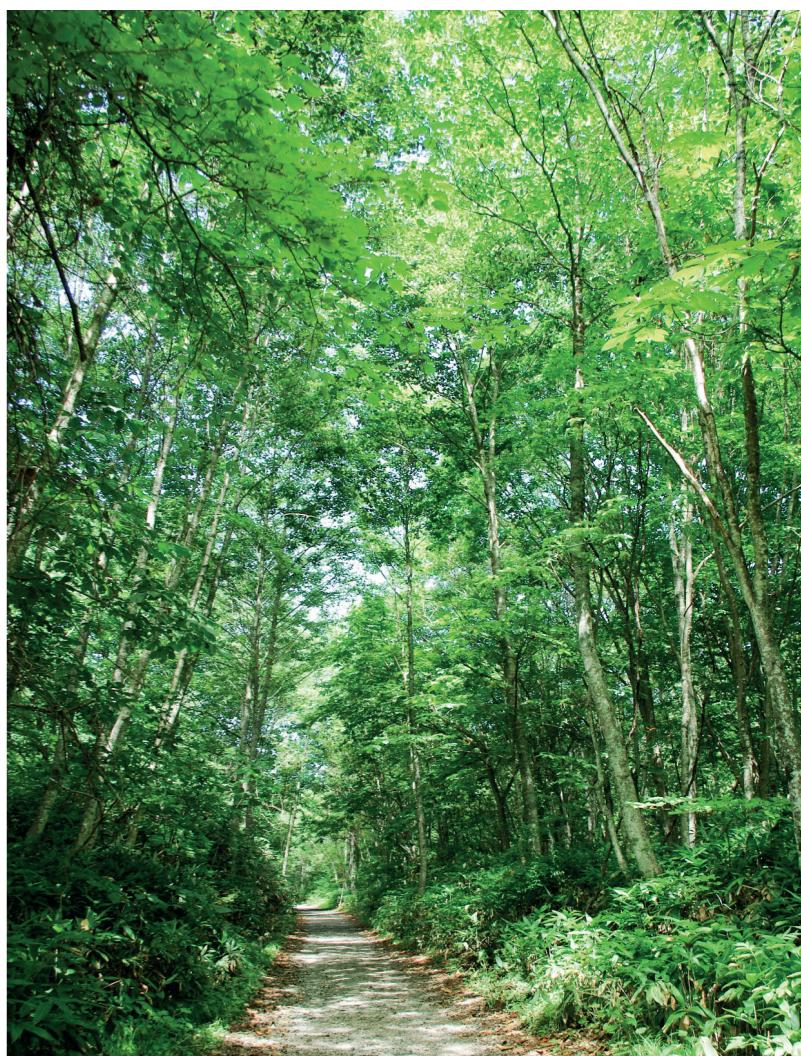


休憩時に、ちょっとしたアメがあるだけでもうれしいものです。

開催場所の選定

体验会の事前のフィールドアセスメント（下見）では、基地とは違った要素を考慮しなければいけません。人が多すぎないか・車の音がうるさくないか・立入禁止の場所はどこか、などは特にチエックが必要です。また、集合場所についてはなるべくわかりやすく、できれば駅やバス停から近い場所を選ぶとよいでしょう。入場料のかかる場所の場合は、営利目的で

の利用が禁止されていないか、集金方法に指定がないか確認します。例えば、東京の新宿御苑の場合は園内での集金が禁止されています。イベントの料金をとる場合は、園の外で受け取りをしなければならないということです。こういった規定は、特に大きな公園には必ずありますので、事前によく確認し、必要に応じて運営事務所などに問い合わせておきましょう。





こくちーず <http://kokucheese.com/>

イベント募集サイトでは最大手。
様々な種類のイベントが開催されている。

everevo <http://everevo.com/>

告知から集金までが一括で行えることが特徴。
各種SNSとの連携も可。

朝活ナビ <http://asakatsu.org/>

早朝開始のイベントの告知ができる、
朝に特化したサイト。

参加者を集めるには

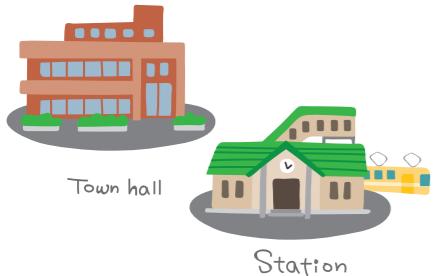
さて、開催場所やルート、実施日程などが一通り決まつたら、いよいよ告知を出してみましょう。もし、心理的にハードルが高く感じられる場合は、まずはご家族・ご友人を気軽に誘う形で実施するといいかかもしれません。一般に参加者を募集する場合は、フェイス

ブックなどのSNSで告知を出す、サイトで告知を出す、チラシ・ポスターを貼るケースが想定されます。また、ヨガ・ストレッチ・太極拳等の先生と共同でイベントを実施すると、募集枠が埋まりやすくなります。

現在では、いろいろなイベント募集サイトが充実していますので、色々掲載してみるのも一手です。

他、森林セラピーフェイスブックページでも、事務局に情報をお送りいただければ掲載いたします。チラシ・ポスターは、地域の公民館・図書館などの公営の施設、もしくは掲示板を備えたスーパーなどでも掲載してくれることがあります。首都圏なら駅に掲示スペースがないか確認してみるとよいかもしれません。

チラシやポスターには、日時・場所・所要時間・料金・申込方法などの情報のほか、集合場所のわかりやすい地図がついていると親切です。また、イベントの詳細を詳しく書き並べることよりも、企画者や当日のガイドがどんな人（もしくは団体）なのか、紹介が記載されていると、申込みまでの心理的なハードルが下がります。



チラシ・ポスターは、掲示スペースに掲載してくれることがあります。首都圏なら駅に掲示スペースがないか確認してみるとよいでしょう。

森林セラピーの体験会について詳しく書き並べることよりも、企画者や当日のガイドがどんな人（もしくは団体）なのか、紹介が記載されていると、申込みまでの心理的なハードルが下がります。

森林セラピーの体験会については、先述のとおり、散策会や自然体験会との違いを短時間でアピールする必要があり、基地とは違つたフィールドアセスメントが必要になりますから、森林セラピー基地での実施とはまた違った難しさがあります。森林セラピーソサエティでも、まだまだ試行錯誤の途中にある取り組みですが、既に森林セラピーのよさを体験会という形で広めてくださっている会員の方もいらっしゃいますので、ここで一度情報のまとめと共有、ルーチ化を行いたいこともあり、今回特集しました。



名称について

イベントに名前をつける際には、森林セラピー基地もしくはロードセラピー体験会等を開催するわけですから、必ず体験・入門であることのわかるように、もしくは、森林セラピーガイド・森林セラピーストの案内する森林浴・散策・リラックスイベント、という表現にしてください。

○ 適切な例

- 「森林セラピーフェスティバル」
- 「森林セラピストによる森林浴入門」
- 「森林セラピーガイドの**公園散策」

✗ 避けてほしい例

- 「**公園で森林セラピー」
- 「森林セラピーカンファレンス」
- 「森林セラピーイベント」など



また、認定地以外での『森林セラピー』名称の使用（避けてほしい例）は事務局でも厳しく取り扱っており、報告を受けた場合、必要に応じて警告を送付しています。森林セラピスト・セラピーガイドが企画しているか否かにかかわらず、避けてほしい例に当たるまる表記を見かけた際には、事務局までお問い合わせいただけ幸いです。



▲セラピーツアー(やすらぎの森ロード近くのおむすび広場)

箱根芦ノ湖のコース



▲やすらぎの森ロード(森の広場)



▲やすらぎの森白浜入口

①箱根やすらぎの森セラピーロード【約1.0km】

ロードそのものは、高低差40メートルと楽なコース。このロードから足を伸ばして、芦ノ湖まで行くと、健脚者向きのコースに。階段を下りきったあとの芦ノ湖・白浜での深呼吸は、日々の疲れやストレスを湖が吸い取ってくれそう。周辺はスギ・ヒノキが主体だが、四季おりおりにヤマザクラ、マメザクラ、ヤマツツジ、ヤマボウシ、タマアジサイ、ヤマアジサイなどの花も楽しめる。

②九頭龍の森セラピーロード(準備中)【約3.0km】

歩行時間は約1時間。高低差はほとんどなく、木々の間から湖を眺めることもできる親水性の高いコース。周辺はケヤキやアカガシ、ブナ、ミズキ、ホオノキ、ヒメシャラ、ヤマボウシ等の広葉樹が主体。季節ごとにマメザクラやズミ、ヤマツツジ、アセビなどの花も楽しめる。



▲箱根九頭龍の森ロード



▲フォレストキッチン(人気のアウトドアクッキング)



▲やすらぎの森遠望



▲森林セラピー看板

箱根町は古くから湯治場として栄え、今や日本を代表する国際観光地です。2016年3月に、芦ノ湖周辺が森林セラピー基地としての認定を受けました。現在全国で62ヶ所ある森林セラピーの認定地の中でも、湖を有する数少ない基地です。森林セラピーのイベントを担うのは、森林セラピー基地認定前から箱根の森で活動する「はこねのもり女子大学」、通称はこじょ。

森林セラピー基地としては珍しい子育て世代の女性を狙った森林セラピーや、森林内で行うヨガ、食材にこだわったアウトドアクッキングなど、多彩なアクティビティを提供しています。イベント

には毎回、満員御礼の文字が出るほどの人気です。他にも、箱根町ならではの取り組みとして「はこじょ森林セラピー®ラボ」が挙げられます。はこじょ森林セラピー®ラボは、森林セラピーだけではなく、美容や食事、ボディケアやメンタルケアなど様々な視点から癒しを総合的に発信するサイトです。



▲セラピーツアー
(やすらぎの森 森ヨガ)

●森のふれあい館

箱根やすらぎの森の中心的施設で、動物や植物の展示をとおして自然の素晴らしさ、森林の大切さを楽しみながら理解していただくための施設です。

自然の素材を使った大人から小さなお子様まで気軽に楽しめる木の実クラフトも人気です。

花や実、鳥、虫などを見ながら、自然や生きものについて楽しく学べる楽習教室(ガイドウォークや工作体験)やウォーキング(自然のクイズ)が楽しめます。



▲森のふれあい館(基地の拠点施設)

●県西地域活性化プロジェクト

神奈川県では、豊富な地域資源を持つ県西地域(神奈川県の西部に位置する、小田原市、箱根町などの2市8町のエリア)を「未病の戦略的エリア」に位置づけ、「未病を改善する」をキーワードに各地域の魅力をつなげて新たな価値を創出し、地域の活力を生み出すため、県西地域活性化プロジェクトを推進しています。



**神奈川県箱根町
箱根芦ノ湖
森林セラピー基地**

●お問い合わせ
箱根町立 森のふれあい館

〒250-0521
神奈川県足柄下郡箱根町箱根381-4
TEL / 0460-83-6006
FAX / 0460-83-6003



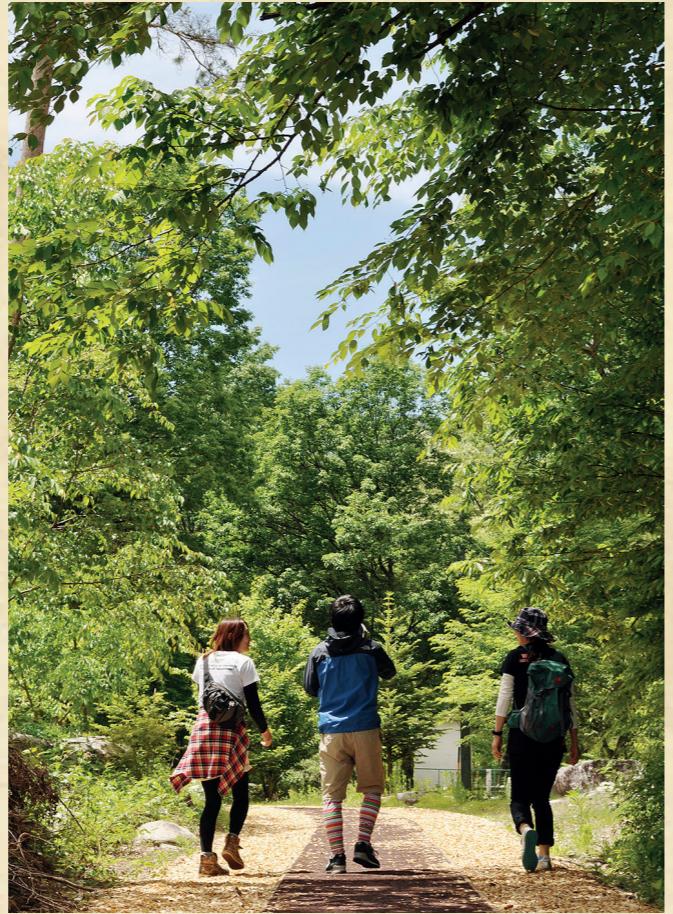
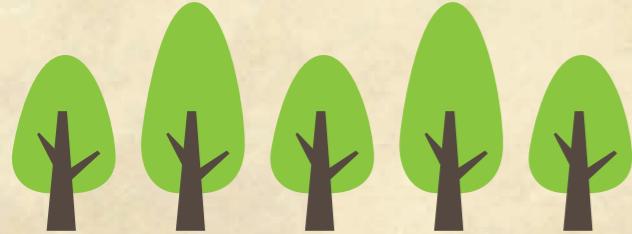
おりての森のコース

①おりての森コース[所要時間約40分]

歩道にはウッドチップが敷き詰められ、歩くと足の負担が少なくなるように配慮されていて、寄贈された約100本のアジサイが間隔をおいて植えられている。

②りんどうコース

標高1600mのリフトからの下りのコース。カラ松を中心とした林道を歩き、南アルプスや恵那山の雄大な姿を見ながら散策できる。



長野県の南部松川町にある「おりての森」は南アルプス及び中央アルプスに挟まれ、谷間を流れる天竜川によつて作られた河岸段丘の上流部にあります。中央道松川インターより5分の場所で、標高700メートル以上に位置し、清流のせせらぎと小鳥のさえずりが聞こえる豊かな森林に囲まれたところです。

宿泊施設の清流園は季節の料理と温泉を楽しむことができます。周辺には、温水ポールやスポーツ施設が充実しており、年代を問わず癒やしを体感できる場所です。

「おりての森」は、癒やしの空間に、を合言葉に、ホタルの会・もみじの会・百合の会・片桐松川

へ桜を育てる会など地域の協力のもと整備されてきました。

森の外れの「物見の丘」からは、塩見岳・仙丈岳・北岳と南アルプスを象徴する壮大な展望が広がります。

温泉と癒やしの森

基地内には、宿泊施設・日帰り温泉・お食事のできる町営施設の信州まつかわ温泉『清流苑』があり、癒やしと温泉で湯づくり飲みいただけます。

遊びと癒やしの森

「リフレッシュタウンまつかわの里」は清流苑を含めた、南信州

はない総合スポーツ施設も兼ねており、テニス・パターゴルフ・フットサル・屋内で一年中楽しめる温水プールなどがあります。隣接地には、自然の立ち木をそのまま利用し楽しめる、自然共生型アウェンドアパーク「フォレストアドベエンチャー・松川」があり、森の中でダイナミックに空中散歩を楽しめます。遊びと癒やしを体験することができます。



kichi tanbow
長野県下伊那郡松川町
リフレッシュタウン
まつかわの里
おりての森

●お問い合わせ
信州まつかわ温泉 清流苑

〒399-3304
長野県下伊那郡松川町大島2784-1
TEL / 0265-36-2000
FAX / 0265-36-5544



森林セラピー 女子部だより

Forest therapy women's group

森林セラピー女子会 講座イベント・ 基地探訪のご報告

卷之三

温かい土の香りを纏つて喜び芽吹く春、瑞々しく潤う新緑のトンネルをくぐり、眩しい日差しを浴びながら、ダイナミックに生命の息吹きを謳歌する夏、鮮やかな黃金色に色づく香り豊かな実りと収穫の秋、冷たく乾いた風に、しつかりと大地に根を張り、温かくのびやかな季節に向かつて静かに力を蓄える冬。振り返りページを捲ると、そこには、豊かに息づく日本の四季が、私達の生活にいつも寄り添い、ともに生き、語りかけてくれている事に気付きます。

21日(日)、「森林セラピー女子部が行く! 基地探訪 in 群馬県上野村」と題しまして、群馬県上野村森林セラピー基地に伺い、一泊二日集中合宿を開催させていただきました。東京駅から新幹線で約一時間、群馬県最大のターミナル駅高崎駅到着後、送迎車に揺られること一時間、車窓に続く街並と喧噪は徐々に遠のき、やがて緑生い茂る長い一本道を走り抜け辿り着いたのは、圧倒される程の深濃の自然と野生の香りに包まれた小さな山村でした。

がら、身体一杯に深呼吸をした
ら、ゆっくりと五感が目を覚まし
だします。正午を過ぎ上野村到着
とともに、農家レストラン
yotaccoにて、赤芋や野菜、
蒟蒻、イノブタ等、地元食材をふ
んだんに使用した郷土料理をいた
だきました。築130年の養蚕家
屋を再生したという室内は、扉を
開けると、長年大切に愛されてき
た木と畳の香りに満ちており、そ
の空間に身を置き、お食事をいた
だける事に、訪れた誰もが温かさ
と安らぎを覚え、食の楽しさ喜び
もより一層感じられます。

昼食後、村内の材木、間伐材等を使用したペレット工場、バイオマス発電所、そしてその熱を利用して椎茸専門工場等、上野村独自の森を守り活かす仕組みについて、ゆっくりと体験見学をさせていただきました。上野村には、毎年千人以上の方が全国からこの取り組みを視察にいらつしやるそ

夕日が沈む頃、村唯一の日帰り温泉浜平温泉しおじの湯に伺い湯浴みをさせていただきました。メタケイ酸を多く含む泉質で、飲用にも適する大自然からの恵みに心も身体も温まり疲れと汗は流れ、明日への元気が湧いてきます。

一筋の清冽な源流
魂を搖さぶり深く萌える森
上野村森林セラピー



自然の恵み メタケイ酸
豊富な美肌の湯を全身で体感
「おじ」の湯にて

静寂に包まれる、より良い明日への大切な時間

- ③木と畠の香りが懐かしい農家レストランyotacco
- ④森林資源を大切に活かし地域全体の良い循環へ向けて
- ⑤上野村の森を守り活かす取り組みに触れて
- ⑥森林資源を活かす様々な取り組み、ペレット工場にて



中ノ沢源流域自然散策路
五感が満ちていくシエス

降り注いてきます。宿泊施設でもある自然体験学習の家 木森れ陽にて、上野村の自然、文化、歴史、そして森林セラピーについての座学と、セルフハンドトリートメント講座を行いました。深い森の夜は怖い程の静寂を湛え、呼吸をする度に、私達の五感と心を潤し、研ぎ澄ませていきます。

皆様、いかがお過ごしでしょう
か。森林セラピー女子部、季節を
重ねながら、ゆっくりと学びの場
と仲間との交流、絆を、深め広げ
ていきたいと思います。



- ①上野村森林セラピー合宿
に際し 祈りと感謝を込めて
- ②初夏の日差し 上野村の
森を全身に浴びて



上野村への訪問 合宿を振り返って

「森を歩くということは、どういうことか。」今回上野村に伺い、深緑の森に包まれながら、村独自の取り組みを体験させていただいたことで、この問い合わせに対しても様々な角度から向き合うと共に、大きな気付きを与えていただけました。

また、昔から「同じ釜の飯を食



黒澤丈夫村長銅像とともに

う」との言葉があるように、今回

の合宿を通して、参加者全員が、森林セラピーへの学びとともに、何物にも代え難い人生の財産を見つける事が出来たのではないかと

思います。遠方から電車を何時間も乗り継ぎ参加してくれた女子部

の仲間達、感謝します。ありがと

う。素晴らしい機会を与えてくだ

さった群馬県上野村御関係者の皆

様、一般社団法人上野村産業情報

センター三枝様、中村様、そして

森林セラピーに携わっていらっしゃる全ての方に、あらためて心

より深く感謝申し上げます。

温かくのびやかな生命の 香り溢れる季節に向けて

森林セラピー女子部、お一人またお一人と、少しづつ手をつなぎ同志の仲間の輪が全国に広がっております。親愛なる全国の女子部の皆様、そして森林セラピー御関係者の皆様、皆が集える機会を設けさせていただけるよう今後より一層努めて参りますので、どうぞ

よろしくお願ひいたします。

新年度も講座、交流会、基地探訪を通して、「健康日本21」に提唱される栄養・運動・休養のバラ

ンス良い調和によって、未病を予防し、健康寿命の延伸に繋がるよ

う、女性の視点とホスピタリティ

を大切に、学びと啓蒙普及の場として、活動を少しずつ進めて参りたいと思います。小さな一步ですが、温かく見守ってください

よう、皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

■執筆 工藤 知恵



- 森林セラピー女子部 部長
- 森林セラピスト
- 公益社団法人日本アロマ環境協会認定アロマセラピスト・インストラクター
- JAMHA認定ハーバルセラピスト
- JAPA認定アーユルヴェーダセラピスト

アロマセラピスト・インストラクター、ハーバルセラピスト、アーユルヴェーダセラピストとして様々な現場を経験。森林セラピストとして活動をしながら、都内、各地でPRイベント、講座等多数参加出演。現在、生活の木原宿表参道校にて、自然の大きな営みに寄り添う、現代人のより良く生きる生活術として「日本の森 ハーブとアロマと森林セラピー・植物時間、秋・冬、季節に寄り添う植物時間」を開講中。

2018年度上半期 森林セラピー女子部 講座イベント・交流会のスケジュール

森林セラピー女子部では、森林セラピスト有資格者を対象に講座やイベントを開催致します。
また、森林セラピーのプロローグとして、都市公園を活用した講座も行います。

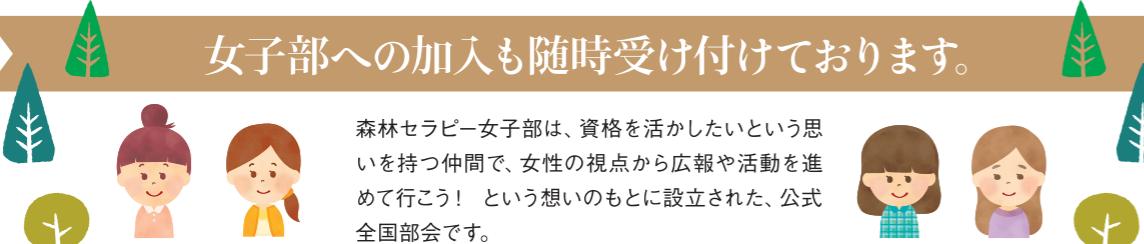


*日程や内容については予定であり、変更等も見込まれます。

*講座につきましては、女子部部員の方を対象としますが、体験会、基地探訪、交流会については、どなたでもご参加いただけます。参加をご希望の方は、森林セラピー女子部 部長工藤まで、ご連絡いただきますようお願いいたします。また、女子部への参加も、随時、受け付けておりますので、参加をご希望の方は、ご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。女子部一同お待ちしております。

(森林セラピー女子部 連絡先: fo_society_jyoshibu@yahoo.co.jp 部長 工藤宛)

女子部への加入も随時受け付けております。



森林セラピー女子部は、資格を活かしたいという思いを持つ仲間で、女性の視点から広報や活動を進めて行こう! という想いのもとに設立された、公式全国部会です。

※Facebookページでは森林セラピー女子部の活動情報を掲載しています。入部のお問い合わせもFacebookページからどうぞ。

<http://www.fo-society.jp/jyoshibu/>



事務局から編集後記

年が明け、2018年となりました。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、誌面には入らなかった話題として、中国四川省からの招へいを受けたことを皆様にご報告いたします。福岡県篠栗町の三浦町長、当法人から春日理事と私事務局の鈴木で訪問しました。

さて、中国、と聞いてどのようなイメージをお持ちでしょうか。今回訪問した西昌市涼山イ族自治州は、いい意味で中国のイメージを裏切るような、自然豊かな地域でした。森林セラピーは、現地では『森林康養』と訳します。以前北京で見かけた際は『森林療養』と訳していたのですが、四川省では「(治療ではなく) 健康に寄与する」というニュアンスを強くした『森林康養』を採用しているとか。

四川省ではこれからどんどん森林を活用した保養を推進していきたいと聞きました。日本の森林セラピーは追いつけ追い越せの良きライバルになるかもしれませんね。

それでは、また次号でお会いしましょう。(事務局 鈴木)



会員リスト

団体正会員

- ・特定非営利活動法人 日本ヘルスツーリズム振興機構
- ・株式会社デラ
- ・翠会ヘルスケアグループ

団体賛助会員

- | | | | |
|----------|-------------|-----------------|---------------|
| ・山形県小国町 | ・沖縄県国頭村 | ・福岡県八女市 | ・森永乳業(株) |
| ・長野県上松町 | ・神奈川県厚木市 | ・宮崎県日南市 | ・小林製薬(株) |
| ・長野県飯山市 | ・長野県小谷村 | ・群馬県上野村 | ・(株)北都 |
| ・長野県信濃町 | ・和歌山県高野町 | ・大山観光開発(株) | ・社会医療法人社団正志会 |
| ・長野県佐久市 | ・新潟県津南町 | ・福岡県篠栗町 | ・青森県深浦町 |
| ・山口県山口市 | ・東京都檜原村 | ・群馬県草津町 | ・石川県津幡町 |
| ・高知県津野町 | ・静岡県河津町 | ・鳥取県智頭町 | ・長野県松川町 |
| ・宮崎県日之影町 | ・宮城県登米町森林組合 | ・熊本県水上村 | ・山梨県 |
| ・岩手県岩泉町 | ・秋田県鹿角市 | ・JMC(株)ヘブンスそのはら | ・福岡県豊前市 |
| ・長野県南箕輪村 | ・東京都奥多摩町 | ・北海道津別町 | ・群馬県甘楽町 |
| ・山梨県山梨市 | ・新潟県妙高市 | ・神奈川県山北町 | ・株式会社クレディセゾン |
| ・長野県木島平村 | ・長野県山ノ内町 | ・富山県上市町 | ・千葉県南房総市 |
| ・島根県飯南町 | ・三重県津市 | ・奈良県吉野町 | ・広島県神石高原町 |
| ・高知県梼原町 | ・滋賀県高島市 | ・広島県安芸太田町 | ・(株)有馬ビューホテル |
| ・宮崎県綾町 | ・岡山県新庄村 | ・大分県大分市 | ・神奈川県箱根町 |
| ・鹿児島県霧島市 | ・福岡県うきは市 | ・(一財)日本森林林業振興会 | ・茨城県大子町 (順不同) |